

## 2005年のヒマラヤ登山

尾形好雄（日本山岳協会国際部長）

### ヒマラヤ登山の動向

2005年はカンチェンジュンガとマカルーの初登頂50周年の節目の年で、カトマンズやニューデリーで周年記念の行事が行われた。然し、エベレストのゴールデン・ジュビリーのような盛り上がりはなかったようである。

ヒマラヤのジャイアンツ（巨峰）の初登頂時代から半世紀が過ぎ、現代のヒマラヤ登山は2極分化の傾向が益々顕著になってきている。一つはガイド登山隊によるノーマル・ルートからの8,000m峰登山。もう一つは6,500m未満のピークで、少人数によるテクニカルなアルパインスタイルの登山。

2005年のヒマラヤ登山をみてもこの傾向ははっきりと表れている。

周年記念と云えば、昨年は1970年にラインホルト・メスナーが弟のギンターとナンガ・パルバットのルパール側南南東側稜を初登攀してから35年を迎えた。このメスナー・ルートが35年ぶりに韓国隊によって第2登された。韓国隊は下降ルートもメスナーたちと同じく西壁へトラバースした。一方、ルパール側南壁中央ピラーがアメリカのステーブ・ハウスとヴィンス・アンダーソンのペアによって初登攀された。6日間のアルパインスタイルで9月6日に登頂。ナンガ・パルバットの最近の登頂時期を見ると、従来より年々早まっており、8月以降の登頂記録はほとんど見られなかっただけに今回の9月の登頂は興味深い。

その他カラコルムではブロード・ピーク南西壁

がカザフスタンのデニス・ウルブコとセルゲイ・サモイロフのペアによって6日間のアルパインスタイルで初登攀された。

そのほかの主な登攀では、最近、日本からの情報発信で欧米人の注目を集めているチベット東部で、「チベットのマッターホルン」と呼ばれているカジヤチョ(6,447m)が英国のミック・ファウラーとクリス・ワッツによって6日間のアルパインスタイルで初登頂された。ルートは西壁から北西稜にルートをとって完登。

ネパールでは、「クーンブ・エクスプレス」と名づけられたスピード登山が行われた。スイスのウエリ・シュテックが4月15日、チョラツェ(6,440m)北壁を2日間で登攀。同24日にはタウチェ(6,505m)南東壁に向かい僅か5時間で単独初登攀。続いてアマ・ダブラム(6,814m)北東壁に向かったがこちらは状態が悪く5,900mで断念した。恐るべしスピード登攀である。

7,000m峰の初登頂では、クリスチャン・トロムドルフの率いるフランス隊がチョモ・レンゾの北峰(7,195m)と中央峰(7,540m)に初登頂した。

### 日本人の記録

2005年の日本のヒマラヤ登山隊は別表の通りである。日本隊の動向をみても前述した2極分化の傾向がはっきり表れている。相変わらず世界最高峰の人気は高く、南北双方から8隊が挑み、それらの大半は公募隊での登山であった。従来のような組織的登山隊は、群馬県山岳連盟隊のナンガ・

5. 海外登山記録

2005年日本人ヒマラヤ登山隊

山名	標高	国別	登山隊/派遣母体名	ルート	季	隊長名	人数	結果	備	考
サガルマータ	8,848	ネ	チームホンダ	南東稜	春	本多 通宏	4	○	5/31 児玉毅, 井本重喜が登頂	
サガルマータ	8,848	ネ	公募隊	#	春		1	○	5/31 岩崎圭一が登頂	
チョモランマ	8,848	中	#	北稜	春		1	○	5/21 竹内敬一登頂。	
チョモランマ	8,848	中	#	北稜	春		2	○	5/27 奥田仁一, 加藤慶信が登頂	
チョモランマ	8,848	中	日中女子友好	北稜	春	橋本しをり	4	×	C2まで到達	
チョモランマ	8,848	中		北稜	春		1	×	竹内洋岳が7,700m付近で高山病	
チョモランマ	8,848	中	HIMEX	北稜	春		1	○	6/5 島田智恵子登頂	
チョモランマ	8,848	中		北稜	春	坂原 忠清	1	×		
K2	8,611	パ	チーム84/YCC	南東稜	夏	小野 岳	2	×	7/21 7,800mまで到達	
チョー・オユー	8,201	中		北西稜	春	奥田 仁一	3	×	7,900mまで	
マナスル	8,163	ネ	JAC	北東面	春	大蔵 喜福	5	×	5/18 7,000mまで	
ナンガ・パルバット	8,126	パ	群馬県山岳連盟	西面	夏	剣持 典之	6	○	7/15 剣持隊長ら6名が登頂	
ガッシャーブルムI峰	8,068	パ	日本勤労者山岳連盟	西稜	夏	近藤 和美	6	○	7/28 藤川勝人がHAP3名と登頂	
ガッシャーブルムII峰	8,035	パ	江北山の会	南西稜	夏	細田 一郎	1	×	7,000mまで	
シシヤパンマ主峰	8,027	中		南西壁	春		1	○	5/8 竹内洋岳がアルパインスタイルで登頂し, 北東稜を下降	
ギャチュンカン	7,952	ネ	福岡大学	南西壁	秋	川辺 義隆	7	○	10/17 花田博志, 重川英介が登頂	
ムスターグ・アタ	7,546	中	大蛇山同人III	西稜	夏	木下 育美	2	○	8/9 木下育美が登頂	
ムスターグ・アタ	7,546	中		東稜	秋	平出 和也	4	○	9/5 平出, 谷ロケイが登頂(東稜第2登)西稜下降	
ムスターグ・アタ	7,546	中		西稜		山本 正嘉	2	○	山本正嘉が登頂	
スンマ・リ	7,286	パ	北海道山岳連盟	南面	夏	江崎 幸一	7	×	8/8 6,000mまで	
リスム	7,050	中		東稜	秋		1	○	9/20 大神田伊藤美がHAPと登頂	
ギャジ・カン	7,038	ネ	JAC富山支部	南面	秋	木戸 繁良	9	○	9/26 7名が南面新ルートから登頂	
コスクラク	7,028	中	公募隊(ERSHT)				1	×	松原真砂美	
ツクチュ・ピーク	6,920	ネ	雪童山の会	北稜	秋	鈴木 清高	6	×	10/16 西峰(6,837m)に3名登頂	
アマ・ダブラム	6,812	ネ	カラククルン	南西面	秋	林 孝治	2	○	10/17 林, 松岡紀子が登頂	
シプリン	6,543	イ		北壁	秋	平出 和也	3	○	10/12 平出, 谷ロケイが登頂(北壁~北西稜)	
テンカンボチュ	6,500	ネ	広島メイプルビース	北東面	春	名越 實	2	×		
メラ・ピーク	6,476	ネ	アドベンチャーガイド		春	本郷 毅博	5	○	山頂で鮎川敏雄が病死。	
ランシサ・リ	6,427	ネ	雲表倶楽部			猪熊 隆之	1	×		
無名峰(崑崙)	6,345	中	京都大学学士山岳会		夏	伊藤 寿男	4	◎		
ジャンリズ峰	6,214	中	JAC福井支部		秋	伊東 亨	11	◎	9/11,12の両日で6名登頂。上中俊治がBCで病死	
ドゥン峰	6,200	イ	JAC東海支部		夏	水野 起己	5	○	8/4, 全員登頂	
無名峰	6,206	イ	JAC東海支部		夏	鈴木 常夫	5	◎	8/2に鈴木隊長ら3名が初登頂。8/3に6,080m峰に2名登頂	
パルシヤモ	6,187	ネ				米山 雅三	2	-		
スエロカン	6,180	ネ	八日市山の会		春	北川 定	1	×	5/3, 5,800mで断念	
イムジャ・ツェ	6,160	ネ	アミューズトラベル				5		3/25, 山頂直下で男性(61)が病死	
イムジャ・ツェ	6,160	ネ	東京雪稜会			芦田 春久	1			
イムジャ・ツェ	6,160	ネ			秋	宮崎 勉	8	○	11/6, 宮崎, 坂口三郎, 島村光昭, 柴山勝士ら7名登頂。	
ロブチュ・ピーク東峰	6,119	ネ	カラククルン		秋	林 孝治	3	×	10/10, 5,800mで断念	
亜拉神山	5,820	中	白山フロウ山岳会				4	×	5,600mで断念	
相丘切克	5,861	中	山梨県山岳連盟		夏	青木 茂	7	-	偵察隊	
ポタラ峰	5,428	中		北壁	夏	山野井泰史	2	◎	7/19, 単独で「加油(ジャイオ)」初登攀	
牛心山	4,942	中			秋	大内 尚樹	2	◎	9月に大内ら2名が登頂	

(国別=ネ:ネパール, パ:パキスタン, イ:インド, 中:中国)

パルバットや福岡大学隊のギャチュン・カンぐら  
いで遠征隊の形も大きく変わった。

日本人の主要な登山は、竹内洋岳がラルフ・ド  
ウイモフィッツ(独), ゲアリンデ・カルテンプ  
ルナー(オーストリア)とともにシシヤパンマの  
南西壁英国ルートに登り(5/8), 北東稜を下降し  
た。竹内はその足でチョモランマ北稜ルートに挑  
んだが、7,700m付近で高山病で倒れる。

7月, 世代交代した若手リーダーの率いる群馬  
県山岳連盟隊がナンガ・パルバットのディアミー  
ル壁に挑み全員登頂を果たした。一方, 同月に山野  
井泰史はギャチュン・カン北壁の生還以来3年ぶ  
りに中国・四川省のポタラ峰北壁を単独で初登攀。  
9月には同山群の牛心山を大内尚樹ら2名が登攀  
した。

9月から10月にかけて平出和也と谷ロケイがム

スターグ・アタの東稜を登って（第2登）西稜を下降。その後、陸路インドに出てガルワールのシブリンに挑み、北壁から上部で北西稜へ抜ける新ルートに登った。

同じくポスト・モンスーンのネパールでは福岡大学隊がギャチュン・カン南西バットレスからの登頂に成功した。同隊は1988年にも同ルートに挑んだが、事故のため登頂を断念しており、17年振りにリベンジを果たした。

### 遭 難

残念ながら05年も3件（死亡3名）の遭難事故が起こり、68年から途切れる事無く続いているヒマラヤの遭難事故がまた更新され、38年間連続と言う不名誉な記録となった。これらの内2件は、旅行会社が募集したツアー登山で、死因は山頂や山頂直下での突然死であった。もう1件はベースキャンプでの病死。

### 高峰登山調査用紙

2003年4月、(社)日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、(社)日本山岳会、日本ヒマラヤ協会の山岳4団体と全国的な集団の「日本ヒンズークシュ・カラコルム会議」は、登山者の不利益を解消し、記録の収集を積極的に行い整理し、これを次代に引き継ぐべく、登山隊・登山者から提供して頂く「高峰登山調査用紙」の様式を統一し、且つ、その提出先をも統一することで合意した。

以前はそれぞれの団体が主催する研究会等の資料として、各登山隊に対してそれぞれの団体が独自の内容を網羅した「登山調査用紙」を送って登山概要の報告を提出していただいた。これは一つの登山隊に3～4団体から少しずつ内容の異なる「登山調査用紙」提出の依頼が届くことになり、結果的に提出が滞る弊害が見受けられた。また、登山隊にとっては複数の調査用紙に記載しなければならず、多大な不利益でもあった。これらの問題を解消すべく「高峰登山調査用紙」のフォームを統一し、提出窓口も日本山岳協会と日本勤労者山岳連盟に選定した

然しながら、2年目を迎えてもなかなか登山隊・登山者に浸透しておらず、記録の集約に苦慮を強いられている。高峰登山に向かわれる方には、是非この趣旨をご理解の上、「高峰登山調査用紙」の提出のご協力を願いたい。

(文中敬称略)